

製品名: インスリン受容体 β ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe21129

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:95kD;Observed MW:95kD

抗原情報

遺伝子名	INSR
別名	Insulin receptor;IR;CD antigen CD220;[Cleaved into: Insulin receptor subunit alpha;Insulin receptor subunit beta]
遺伝子 ID	3643.0
SwissProt ID	P06213
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

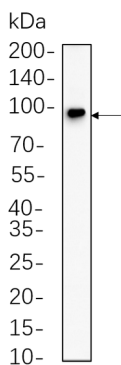
背景

細胞局在: 膜。この遺伝子は、受容体チロシンキナーゼファミリーに属するタンパク質をコードする。コードされているプレプロタンパク質は、タンパク質分解によって α サブユニットと β サブユニットに分化し、ヘテロ四量体受容体を形成する。インスリンまたは他のリガンドがこの受容体に結合すると、インスリンシグナル伝達経路が活性化され、グルコースの取り込みと放出、ならびに炭水化物、脂質、タンパク質の合成と貯蔵が調節される。この遺伝子の変異は、A型インスリン抵抗性症候群、ドノヒュー症候群、ラブソン・メンデンホール症候群といった遺伝性重症インスリン抵抗性症候群の根底にある。選択的スプライシングによって、複数の転写産物バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2015年10月]

研究分野

-

画像データ



ラット子宮細胞ライセートを4~20% SDS-PAGEで分離し、膜をインスリン受容体 β ウサギモノクローナル抗体(1:1000)でプロットティングした。抗体の検出にはHRP標識ヤギ抗ウサギIgG(H + L)抗体を用いた。